

古賀全域で対話集会を開催!!

福岡県議会議員

田辺かずき

県政報告

古賀発! ただいま
県政刷新中!

第3号

2011年10月吉日発行

〈田辺かずき事務所〉

〒811-3117

福岡県古賀市今の庄1-5-36

TEL : 092-692-8510

FAX : 092-410-7730

メール : challenge@

tanabe-kazuki.jp

裏面もあります!

■国内外で調査研究

環境・子ども・外交

■古賀での活動

①花見校区 8/17 花見南区公民館

②千鳥校区 8/18 千鳥南区公民館

③小野校区 8/19 上米多比公民館

④花鶴校区 8/22 花鶴2丁目3区公民館

⑤古賀東校区など 8/24 都筵内会館

⑥青柳校区 8/25 青柳区公民館

⑦古賀西・花鶴校区 8/28 鹿部区公民館

⑧青柳校区 9/1 町川原1区公民館

⑨舞の里校区 9/2 舞の里5丁目集会所

⑩古賀東校区 9/7 庄北区公民館

⑪古賀東校区 9/8 中央区分館

⑫古賀西校区 9/9 古賀北区公民館

⑬古賀東校区 9/10 久保区公民館

政治活動を連日発信中! ▶▶▶

ブログ(活動日記)
公式ホームページ

<http://ameblo.jp/tanabe-kazuki/>

<http://www.tanabe-kazuki.jp/>

□全ての

小学校区で

8月17日〜9月10日、県議として初めての「対話集会」を古賀市内全域で開催しました。全8小学校区で計13回、総勢数百人の方に足を運んでいただきました。私からは4月以降の県議会での活動について、6月定例議会での知事への一般質問を中心に報告。どの会場も質疑応答が活発で、各地域の生活課題の要望もいただきました。

□現場の

「声」を重視

私は県議選を通じて市内各地で対話集会を開き、「県議になっても続けます」と約束させていただきました。政治家は選挙が終わると集会を開かない傾向にあります。しかし選挙とは関係ない「平時」であっても、住民の皆さんに自らの活動を詳細に報告し、現場の「声」を聞くために集会を開くべきです。

□民主主義の
サイクル

集会で住民の皆さんと顔を合わせ、話をします。ご意見を自らの政治活動に反映させ、議会です。今後ともよろしくお願いたします。

□学んだことを活かす

このサイクルがまさに民主主義であり、政治家は住民と行政の「橋渡し」役です。

今後定例議会が終わるたびに各小学校区で開催します。1年余りのうちに、今回うかがえなかった行政区にも参ります。私の活動の根っこが対話集会。そのうえで、社会の課題を解決するために学び続ける姿勢を大切にします。この県政報告では県議として国内外を調査した取り組みも紹介しています。今後ともよろしくお願いたします。

裏面へ
つづきます



田辺一城の
発信箱



国内外視察＝経験を政治に活かす

リサイクルの現場を歩く

家電
紙おむつ

新発電技術も

県議会議員の活動には、さまざまなテーマで先進地域の実情や県内の課題を把握するため、学識を深めるための「調査・研究活動」があります。東日本大震災の被災地訪問のように議員個人としての、または所属する会派や委員会のメンバーとして。これまでの主な取り組みを報告します。

＜新エネルギー・環境問題＞

厚生労働環境委員会のメンバーとして、北九州市若松区・響灘工業団地の「西日本家電リサイクル」を訪問。テレビなどの廃家電を解体・再資源化するプラントで、私が6月議会で提言した、「家電

リサイクル法」の循環システムを支える現場です。また、県リサイクル総合研究センターを訪ね、介護現場などから回収する使用済み紙おむつからパルプを回収し、建築資材などに生かす事業の説明を受けました。(9月5日)

東日本大震災でエネルギー事情は転換点を迎えました。所属会派としても「環境モデル都市」である北九州市の低炭素化社会を目指す先進事例や、石炭をガス化する新たな発電技術で環境負荷を減らす研究を視察しました。(6月15、2日)

石炭ガスの新発電技術の開発が進むプラントで、田辺は中列右から2番目。



児童相談所―虐待から守るために

＜子どもの諸課題＞

県内8カ所の児童相談所のうち田川を訪問。全国的に児童虐待が増加し、発達障がいや相対的目立つ中、態勢の拡充が時代的な要請といえます。「24時間365日態勢」で働く現場の皆さんの苦勞に報いなければいけません。(9月6日)

発達障がいのある子どもへの「指定児童デイサービス」を併設し、全国でも先進的です。議員個人として訪ね、障がい児の療育と将来の就労環境を社会が整える重要性について認識を共有しました。(8月9日)

障がい児の療育と就労

古賀に隣接する新宮の福岡療育支援センター「いちばん星」は、重い障がいのある子どもの在宅医療を担う「指定訪問看護ステーション」と、身体・知的・

また、友人のつながりで春日市の春日西中学校に講師として招かれ、県議や新聞記者の立場から「現場」の大切さを話しました。(8月25日、9月1日)



みなさんとともに―古賀での活動

最近、力を入れていたのは河川の問題。河川敷から草が道路にはみ出すといった危険な場所が見られたため、各地点を写真と文章で「地図」と写真と文章で示した「要望書」を作成。県に提出しました。また川沿いの道路が、高齡者の方から「転倒する」と聞いたため、修復してもらいました。課題をひとつひとつクリアして、対処を求めます。また、市民の皆さんと河川の生態系を学ぶ機会もいただきました。

田んぼの稲穂が実りました。初秋。筵内区で、認定農業者の皆さんが取り組んでいる「ジャガイモ植え」に私も参加しました。夏祭りや敬老会などの地域行事が、市民オベラ、「えんがわくらぶ」の世代間交流、ダジャレの「D1グランプリ」などにかさねてきました。皆さんから「声」を聞かせていただきました。



日震災民抵台 展開14天希望之旅
2011年7月27日付 現地大手紙「聯合報」
写真右は田辺。

を視察。私は帰国後、県議会の特別委員会で「文化に国境はない」との立場から、文化交流を促進するため、台北・故宮博物院の文物展を福岡県に誘致するよう県当局に強く求めました。(7月26日～30日)

台湾訪問 経済・文化の深化を

分権の時代、自治体外交は重要性を増しています。この夏、経済、文化的に重要な相手「国」である台湾(中東民国)を会派の一員として訪問。東日本大震災で、台湾は約170億円も支援してくれており、その答礼の意もあります。現地の新聞に私も掲載されました。外交部や貿易センター、台北市議会の幹部と意見交換し、「経済特区」や日本人が建設に力を尽くした「八田ダム」など

ブログ <http://ameblo.jp/tanabe-kazuki/>
公式HP <http://www.tanabe-kazuki.jp/>

＜田辺かずき プロフィール＞

1980年5月16日生まれ
1987年 暁の星幼稚園 卒園
1993年 花鶴小学校 卒業
1996年 古賀中学校 卒業
1999年 福岡県立福岡高校 卒業
2003年 慶應義塾大学法学部法律学科 卒業
毎日新聞社 入社/福井支局 配属
原発事故や災害弱者、日本人拉致問題などを取材
2006年 大阪本社社会部 配属
橋下徹・大阪府知事、大阪府警、甲子園などを担当
福祉問題、地域活性化、国際紛争などにも取り組む
2011年 福岡県議会議員 初当選
毎日新聞社 退社
民主党福岡県第4区総支部 幹事長
県議会・厚生労働環境委員会 所属
県議会・国際交流推進対策調査特別委員会 所属
【家族】会社員の妻、4歳の長男、1歳の長女
【最近のおすすめ】「神様は、乗り越えられない試練は与えないんだよ」。被災した故郷を支援しながら、自らはパラリンピックを目指している女性(29歳)が胸に刻む、母の言葉。/長男が「○○レンジャー」に興味津々。私の記憶で最もインパクトが残るのは「ダイナマン」。スーパー戦隊シリーズの息の長さに脱帽です。



■サポーター登録のお願い

県議としての活動を多くの人に知ってもらうため、皆さんのお力を少しずつ貸していただきたく思います。この県政報告をご近所やお知り合いに配布していただける方は、事務所(092-692-8510)にご連絡ください。

■後援会から

後援会員を募集しています。入退会は自由。後援会は2010年12月以降、ハガキなどの所定の用紙で登録いただいた方を会員とし、田辺自身の執筆による「県政報告」を郵送しています。「政治家には説明責任があり、自らの活動の詳細を有権者の方にお知らせする義務がある」との強い思いからです。会員に特段の義務は発生しません。後援会規約をご希望の方、また会員であることが不都合な方は事務所までご連絡ください。なお、これまで「対話集会」にご参加いただいた方などにも県政報告を郵送しています。